

ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会
会長

山西健一郎

公益財団法人日本テニス協会の実業団委員会が日本テニス界の普及の一翼を担って開催してまいりました「全国実業団対抗テニス大会－ビジネスパル・テニス－」は、今年で58回目を迎える事となり、29年ぶりに愛媛県松山市にもどってまいりました。四国テニス協会、愛媛県テニス協会の御尽力とともに松山市のご協力により、松山城や道後温泉、文学でも有名なこの地で2回目の開催が出来ますことは誠にご同慶に堪えません。

実業団の大会に於いて、団体戦の国内最高峰であります日本リーグでは、プロ選手を含む日本のトッププレーヤーや外国人選手の出場によってハイレベルな試合が繰り広げられています。ビジネスパル・テニスも同様に、実業団一般大会の団体戦の頂点として毎年、熱戦が繰り広げられております。今回の松山大会も例年以上に盛り上がることを期待しております。

厳しい地域、地区予選を勝ち抜かれ、見事全国大会に出場された男子32チーム、女子24チームの皆様には、日頃の練習成果を遺憾なく発揮されて素晴らしいテニスプレーを繰り広げると同時に、試合以外の時には全国各地のお互いの情報交換などを行い、大いに友好関係を深めて頂きたいと思っております。

最後になりましたが、スポーツに対する暖かいご理解のもとに、この大会に選手を派遣頂いている各企業の皆様、ご協賛頂いておりますブリヂストンスポーツ株式会社様、この大会を全国に報道頂く朝日新聞社様をはじめ、ご協力、ご支援を頂いております関係各位に心から感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



四国テニス協会
会長

大塚岩男

今年で58回の歴史を誇る「全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル）」が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

全国各地域の激戦を勝ち抜かれた選手、監督そして大会関係者の皆様をここ愛媛・松山にお迎えて「令和」初の全国大会を開催できますことは、誠に光栄なことであり、四国テニス協会を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

本大会の会場である愛媛県総合運動公園テニスコートと松山中央公園テニスコートは、2017年開催の「えひめ国体」に合わせてコートサーフェスの全面改修が行われました。特に、愛媛県総合運動公園テニスコートは、西日本唯一のワールドテニスツアー（男子）「ITF ユニ・チャームトロフィー 愛媛国際オープン」の会場でもあり、国際基準の素晴らしいハードコートが整備されております。

そして、四国は、古くから四国八十八か所巡礼のお遍路文化が根付く「おもてなし」の国であります。スタッフ一同が心を込めて、大会運営をサポートさせていただきます。

また、ここ松山市は、日本最古の名湯「道後温泉」や現存十二天守に数えられる「松山城」を有し、瀬戸内の豊かな自然がもたらす美味しい料理を味わえる国内屈指の観光地であり、俳人「正岡子規」を輩出し、夏目漱石の小説「坊っちゃん」や司馬遼太郎の「坂の上の雲」等の名作の舞台となった文化の町でもあります。短い期間ではありますが、ぜひ「道後温泉」で疲れを癒し、瀬戸内の絶品を召し上がられ、文化の香り立つ松山をお楽しみいただければ幸いです。

終わりになりますが、本大会の主催者である公益財団法人日本テニス協会をはじめ、大会開催にご協力を賜りました関係の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、ご参加の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。